

## 【NEWS RELEASE】

2020年11月9日

各 位

株式会社三井住友銀行

衛星データ分析サービスの提供開始について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠、以下「SMBC」）は、衛星画像などを活用したデータ分析サービスの提供を開始しましたので、お知らせいたします。

## 【背景】

世界的に、社会・経済の様々な領域でデジタルイゼーションが進む中、SMBC では、衛星画像やGPS の位置情報（総称し、以下「衛星データ」）を活用した、各種調査・モニタリングの高度化・効率化に関する取組を進めてまいりました。

今般、実証実験を通じ、本取組の有用性が確認できたことから、衛星データ分析サービス（以下「本サービス」※1 参照）として提供を開始しました。

本サービスは、SMBC グループ中期経営計画の基本方針のひとつである「Growth（新たなビジネス領域への挑戦）」に沿ったもので、SMBC グループが目指す姿である「情報産業化」、「ソリューションプロバイダー」を推進するものです。

なお、本サービスは SMBC シリコンバレー出張所を中心とした、現地スタートアップ企業とのオープンイノベーションの取組から始まったものです（※2 参照）。

## 【サービスの概要】

本サービスは、日本国内及び海外（一部地域を除く）の衛星データを用いて、人々の動きや動産・不動産の状況等（例：特定箇所の車両数、土地・建物の状況など）、社会・経済活動の変化を見える化し、分析レポートとして提供するものです。

本サービスを通じ、これまで利用のハードルの高かった衛星データの活用機会を多くのお客さまに提供するものです。具体的には、衛星データを活用することで、情報分析、マーケティング、モニタリングなどの高度化・効率化が可能となり、本サービスご利用のお客さまの生産性向上にもつながります。

## ■本サービスの事例

【例1】 特定箇所の通行車両数を、異なる日時で比較：車両種別に増減を表示。

⇒活用例：出店計画、既存店の売上変化の要因分析 等



-35%



+49%

【例2】 人の分布をヒートマップで分析：人が多い場所を黄色、少ない場所を青で表示。

⇒ 活用例：都市開発、所有地のモニタリング 等



SMBC では本サービスを、2020 年度下期を目途に、株式会社プラリタウン（※3 参照）の法人向けデジタルプラットフォームのサービスに加える予定です。

SMBC グループは、日々高度化・複雑化するお客さまの様々な課題・ニーズに幅広くお応えできるよう、オープンイノベーションを積極的に活用し、ソリューション力の向上に引き続き努めてまいります。

（※1）本サービス名は、「ジオ（Geo＝地球）」を「見える化」というコンセプトから、またお客さまの業務を応援する（エール）という思いを込め、「ジオミエール」としました。

（※2）本サービスの提供にあたり、米国スタートアップ企業である Orbital Insight, Inc.（CEO：James Crawford、以下「Orbital Insight 社」）と戦略的パートナーシップ契約を締結いたしました。Orbital Insight 社は、膨大な衛星データを、短時間で解析する技術を有する企業です。

本パートナーシップは、SMBC が提携しているベンチャーキャピタルである Geodesic Capital（所在地：米国シリコンバレー。スタートアップ企業などに対する成長資金投資・成長支援を実施）からの紹介で始まり、Orbital Insight 社と SMBC によるビジネスアイデア検討や実証実験などを経て、本サービスの提供に至りました。

#### 【Orbital Insight 社について】

商号	Orbital Insight, Inc.
所在地	Palo Alto, California, USA
設立日	2013 年 11 月 20 日
代表者	James Crawford
業務内容	AI を使った衛星データの解析ソリューションの開発・提供 等
URL	<a href="https://orbitalinsight.com/">https://orbitalinsight.com/</a>

（※3）プラリタウンは、法人向けデジタルプラットフォームを提供する、（株）三井住友フィナンシャルグループの 100%出資子会社です（2020 年 5 月設立）。

以 上